

# 令和元年度事業報告

## 1. 概要

国において進められている働き方改革では、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現することとされており、長時間労働の是正、同一労働同一賃金などの施策並びに高齢者の就業促進として、高齢者が健康で意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることが出来る社会の実現が大きな柱とされました。当センターの状況は、派遣事業においては急速に伸び、請負、委託事業では需要が増加して高齢者の雇用に期待がもたれ、地域に密着した事業展開を実施するに当たり、地域の高齢者が長年培ってきた知識・経験・技能を活かすことが出来る臨時的・短期的又は軽易な業務により就業の機会を提供することによって、生きがいと社会参加を図り、活力ある地域社会づくりに寄与することを目指しました。

また、当センターの運営には小郡市及び大刀洗町両市町のご理解により、滞りなく事業を実施できる補助金を確保していただき、意識改革を図り市町とも連携、協働しながら、地域が求めるニーズ及び高齢者の就労ニーズを満たす分野への就業開拓や、就業機会の創出を行いました。

このような状況の中、令和元年度の事業実績は前年度対比 5,645 千円増で 170,383 千円となりました。また、就業率（就業会員数／総会員数）については、適正就業推進委員会で未就業会員対策等を進めましたが、前年度対比 1.5 ポイント減の 93.6%となりました。これからも公益社団法人として、市町民の信頼を得ながらセンターの基本理念を十分認識して運営を行います。

## 事業実績結果

### (1) 受託事業（一般）

会員の就業機会の確保、更なる会員拡大を図るため、普及啓発部会を中心に市町の広報誌やホームページの活用、回覧板などを活用し広報活動を行いました。また、事業部会を中心にシルバーフェスタ2019を開催し多くの方に来場して頂き、地域住民の皆様へシルバー人材センターのPRを行いました。その他、会員の希望、能力等に応じて公平に提供を行うとともに、適正就業基準の推進、ローテーション就業などを進めました。

### 就業実績（派遣事業を含む）

項目	令和元年度	平成 30 年度	増減
年度末会員数	345 名	349 名	△4 名
就業実人員	323 名	332 名	△9 名
就業率	93.6%	95.1%	△1.5 ポイント
契約金額	170,383,374 円	164,737,718 円	5,645,656 円

## (2) 受託事業（業務委託）

### ア 小郡市高齢者社会活動支援センター管理業務

高齢者が持つ技能、技術、趣味及び特技を活かすことで、高齢者自身の生きがいを創出するための拠点づくりとして設置された小郡市高齢者社会活動支援センターも14年目を迎えました。センターでは、多目的ホールを利用して、託児ルームでの一時預かり、パソコン教室の開催、夏休みこども工作教室、刃物研ぎ講習会、しめ縄講習会などを実施しました。

会館利用者数

(単位：名)

部屋名	多目的ホール	会議室	合計
令和元年度	4,415	5,373	9,788
平成30年度	4,587	3,575	8,162

### イ ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センターは、小郡市の地域子育て支援事業のひとつで、会員制の相互援助活動です。シルバー人材センターは、その運営を委託されており、地域で子どもの育ちを見守っていく支援の輪が広がるよう、登録の拡大に力を注ぎました。この一年は飛躍的に会員数が伸び、当面の目標だった300名を大幅に超えることができました。

依頼会員の登録は、乳児健診（4ヶ月児）時の会場での啓発に加え、その場で事業説明と登録を同時に行うことで、登録のし易さからも拡大に繋がったものと思われます。

また、今年度の利用は、送迎が増えたことが特徴として挙げられます。多様なニーズに応えるため、講習会への呼びかけを行い、支援する側の質の向上にも努めました。

<会員登録数>

<利用件数>

依頼会員	協力会員	両方会員	会員合計	預かり	送迎	利用合計
320名	77名	9名	406名	279件	329件	608件

## (3) 独自事業

高齢者の就業機会拡大のため、高齢者が創意と工夫により、就業を創出する事業として、刃物研ぎ、エアコン清掃、パソコン教室、石焼きも販売、しめ縄販売、おさらい教室、野菜販売、木工品販売の8つの独自事業を実施しました。

木工班（シルバー工房「輝」）では、新たに「木馬」をふるさと納税返礼品として小郡市に取り上げていただき、大変好評で多くの注文を受けました。石焼きも販売事業は、昨年の大雨の影響で例年通りの芋の仕入れが困難となり、販売実績が減少する結果となりました。

契約金額実績

(単位：円)

職種	令和元年度	平成 30 年度	増減
刃物研ぎ	1,469,740	1,358,910	110,830
エアコン清掃	2,388,000	1,708,800	679,200
パソコン教室	336,080	332,462	3,618
石焼きいも販売	2,905,840	4,098,005	△1,192,165
しめ縄販売	265,800	258,300	7,500
おさらい教室	66,500	84,000	△17,500
野菜販売	223,117	161,680	61,437
木工品販売	540,625	336,985	203,640
合 計	8,195,702	8,339,142	△143,440

(4) 労働者派遣事業

高齢者の多様なニーズを踏まえた就業機会を確保していくため、労働者派遣事業の強化を図るとともに事業拡大に努めました。また派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、福岡県シルバー人材センター連合会と連携を取りながら入職時訓練及び1年訓練を実施しました。

派遣事業実績

	令和元年度	平成 30 年度	増減
受注件数	48 件	38 件	10 件
契約金額	33,508,217 円	33,009,600 円	498,617 円
手数料収入	2,066,230 円	2,038,219 円	28,011 円

(5) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するため、次の事項を重点に効果的な普及啓発活動を推進しました。

ア 全国普及啓発促進月間の取り組み

- ・役職員、会員によるイオン小郡店他9か所のスーパーマーケット前でのチラシ配布
- ・小郡市長、大刀洗町長への表敬訪問
- ・県道鳥栖朝倉線のボランティア清掃作業
- ・総合保健福祉センター「あすてらす」にてPR用DVDの放映

イ 広報活動

- ・会報「あすなろ」第54号、第55号を発行して全世帯に配付
- ・小郡市、大刀洗町の広報誌、回覧板を活用したPR
- ・公共施設へのポスター掲示
- ・ホームページによる会員募集、仕事の開拓
- ・求人情報誌“パコラ”に会員募集記事掲載

- ・イオン小郡店にて普及啓発PR活動

#### ウ 地域交流活動

- ・地域の小学生を対象にした夏休み工作教室の開催
- ・大冨洗町ドリームまつりへの参加（ホログラム万華鏡、CD ごま作成）
- ・出張サロン交流会の実施

#### エ 社会参加活動

- ・宝満川一斉清掃、花火大会会場清掃、西鉄小郡駅前周辺清掃

### (6) 安全就業推進事業

#### ア 全体の状況

事故件数は3年続いて12件→16件→19件と推移し、多発しております。令和元年度は毎月のように事故が発生し、事務局もその処理に追われました。保険金受取額も120万円を超え、支払い額よりはるかに多くなっています。このような状況が続けば保険にも加入できず、今後の事業運営に支障が出かねないということを全ての会員が理解し危機感を持たなければなりません。

10月に実施された福岡県シルバー人材センター連合会による安全パトロールでは、安全就業促進大会の出席率、様々な安全取り組みなどが評価されました。しかし、一方で事故が増加している現状では、その取り組みが形骸化するなど十分に効果を得られなかったと思われます。基本に立ち返り、決められたことを省略せずに確実に実施することが必要です。各会員が自分自身のこととして日々の就業を安全の視点から再点検すべき時期にあります。

#### イ 傷害事故、賠償事故

平成30年度1件だった傷害事故は、4件と増加しました。最も重大事故に結び付きやすい脚立使用時の転落事故が含まれています。これを踏まえ、脚立の使用方の講習会を実施する段取りでしたが、新型コロナウイルスによる社会情勢の影響によりやむを得ず中止としました。

賠償責任事故では、刈払時の飛び石による自動車2台の賠償額が93万円を超えるという1事故としては大変高額な事故が発生しました。飛び石による事故はネット等の飛び石対策を取りながらも他に3件発生したことから、作業方法と安全対策のさらなる見直しを指示しました。

年度	傷害事故	賠償責任事故	交通事故(物損)	合計
令和元年度	4件	12件	3件	19件
平成30年度	1件	10件	5件	16件

#### ウ 安全就業委員会

年間6回の委員会と13回64現場の安全パトロール他、事故の検証と対策についての討議、講習会や安全就業促進大会の企画や運営、視察研修等、事故削減を目指して活動を続けましたが、残念なことに思ったような成果は出ませんでした。

前年度より着手したシルバー安心・安全プロジェクトの「指差呼称」と「工夫・改善コンクール」の2つの取組みも浸透しないままとなりました。特に「指差呼称」を実践している様子はパトロール中もほとんど見られず、安全就業委員会での方針や決定を共有し行動してもらい難しさを改めて感じました。このことは、今後の課題であり最大のテーマとなります。

## (7) 相談事業

### ア 入会説明会・入会相談会の開催

シルバー人材センターに興味を持たれている高齢者のために、入会希望者説明会を、小郡市と大刀洗町でそれぞれ毎月2回開催しました。また、入会しようと思われた方には、その後入会申込者説明会を開催し、センター事業をよく理解したうえで会員登録をして頂きました。

#### 入会希望者説明会実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	7	7	4	19	3	4	6	10	3	4	6	9	82

### イ 就業相談の実施

令和2年1月に正会員を対象に就業相談日を設け、就業相談を行いました。また、地域の高齢者を対象に、来訪や電話による就業相談や入会促進を行いました。

## (8) 研修・講習事業

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会を実施しました。また、シルバー人材センターの会員として必要なマナーを身に付けるための接遇講習会を、2月の平日と土曜日に開催し、多くの会員に参加して頂きました。

#### 講習会実施状況

講習会名	内 容	参加人数
掃除研修会	一般家庭のお掃除	19
接遇講習	命ある限りお役に立つ喜び	268
しめ縄講習	しめ縄の作成	20
刃物研ぎ講習	包丁の研ぎ方	13
自動車安全運転	自動車使用における検証・実技	20
合 計		340